

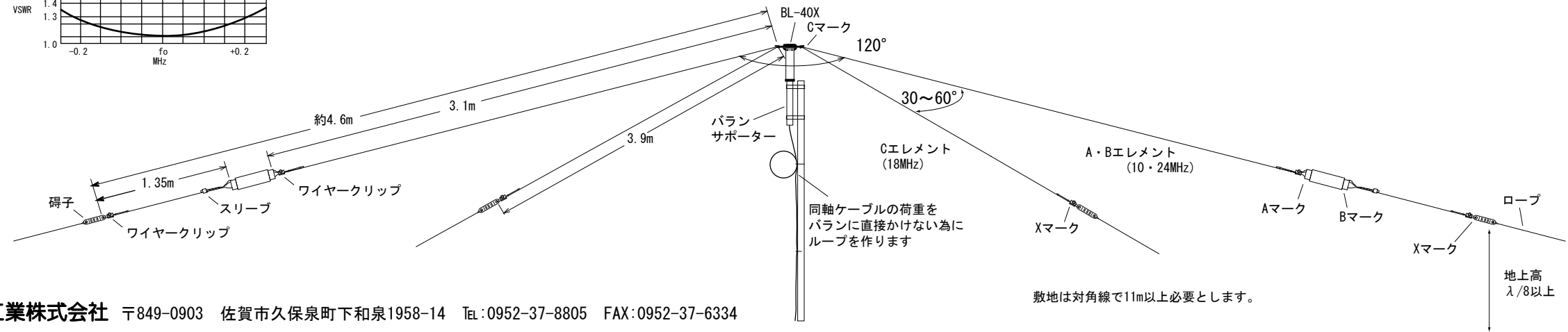
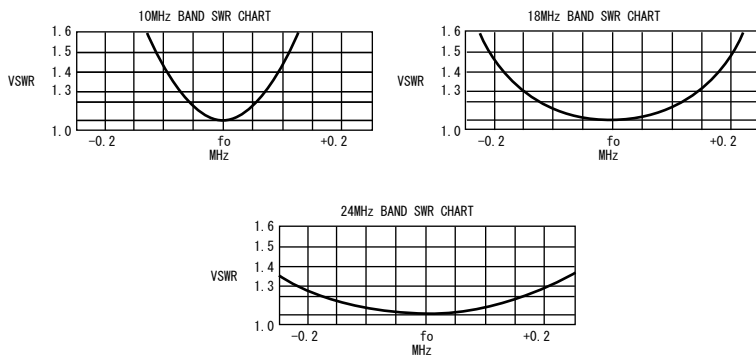
# 10・18・24MHz帯 インバーテッド V型ワイヤーアンテナ MT-WARC 取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。  
本品は、10・18・24MHz WARCバンドワイヤーアンテナです。  
広帯域バランの採用により不要輻射を抑えTVIに対して強い設計  
です。しかし十分に調整が取れていなければ、その性能を発揮できま  
せんので、本書を注意深くお読みになり全体を把握した上で  
ご使用ください。

**規格**  
周波数帯： 10・18・24MHz帯  
最大入力： 500W A3J / 300W A1  
V. S. W. R. : 1:1.5以下  
入力インピーダンス： 50Ω  
全長： 8m/10m 二線式

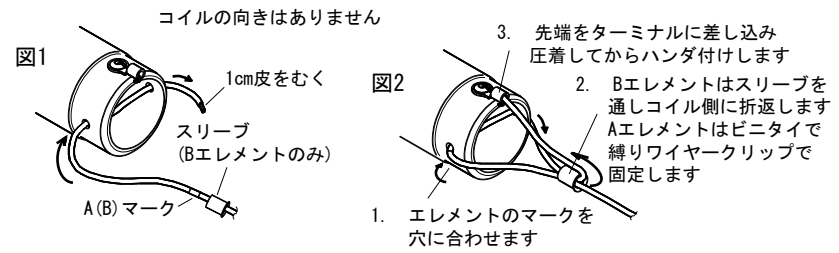
### 組立て・調整作業をする際の注意

- 組立ては、部品の脱落などがないように、適切な工具を用いて確実に  
おこなってください。
- アンテナを設営する際には、安全に十分配慮してください。
- 高所での作業を行う場合は特に気をつけてください。
- 悪天候下での作業は、おこなわないでください。

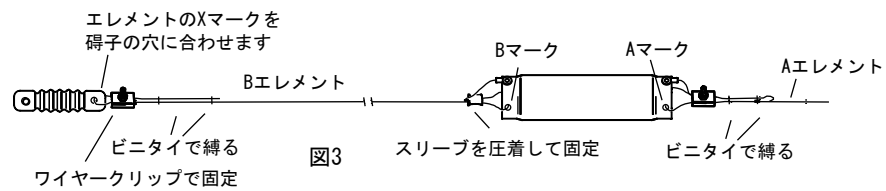


### ●エレメント組立要領

1. コイルにA・Bエレメントを取付けます。(10・24MHz)



2. A・Bエレメントを仕上げます。



3. Cエレメントを組立てます。(18MHz)

図3の様に、CエレメントのDマーク部分にも、波形碍子を取付けます。

4. エレメントをバランに取付けます

図4を参考に、上記で組立てたエレメントをバランに取付けます。  
Aエレメントをバランのターミナルに通し、Cマークで折り返し  
ビニタイで固定します。その後、Cエレメントと共にバランの  
ターミナルにネジ止めします。

5. バランサポーターの取付け

まず、同軸ケーブルをバランサポーターの下から通し、M-Pコネクターを  
バランに接続します。その後、コネクターの接合部分をブチルゴムで巻いて  
防水処理し、バランをサポーターに差込みます。

※パイプ内径はφ18.5で仕上がっているため、市販されているM-Pコネクター  
(外径φ19)は通りません。市販のM-Pコネクターを使用される場合には、  
あらかじめケーブルをサポーターに通した後に、コネクターのハンダ処理を  
してください。

### 調整要領

実際に運用する状態にアンテナを設置して調整します。  
調整はエレメントを切らずに折返して行ないます。

- 調整の順序は1、2、3のどちらからでも結構です。
- VSWRを低くするためには、アンテナの最低地上高を4m以上としてください。
- アンテナインピーダンスは、エレメントを開く角度で変化します。120°でおおよそ50Ωになります。

1. 10・24MHz帯の調整 (A・Bエレメント)

まず24MHz帯から調整します。VSWRを測り、低い方に同調していれば、ワイヤークリップとビニタイをゆるめ、Aエレメント(A~C間)をix 短くします。5cmで、約300KHz高い方に同調します。もし、周波数が高い方に同調している場合は、逆に間隔を長くします。次に10MHz帯のVSWRを測ります。低い方に同調していれば、ワイヤークリップとビニタイをゆるめ、Bエレメント(B~X間)が、短くなるように、Xマークを折返します。5cmで、約100KHz高い方に同調します。満足する特性が得られるまで10/24MHz帯の長さを調整してください。

2. 18MHz帯の調整 (Cエレメント)

Cエレメントは、A・Bエレメントに対し30~60°の角度で展張してください。上からアンテナを見た場合、X線になります。C~X間を5cm短くすると、約100KHz高い方に同調します。

\* 調整が完了しましたら、全てのワイヤークリップとビニタイを、  
しっかり固定してください。

